GitHub Copilotのすべて

Azure DevOpsオンライン Vol.13 Agentic DevOpsって何?

2025年6月21日

本日のゴール 1

(ほぼ) すべての機能の概略を知る

※ 管理機能およびEnterprise限定などの一部機能を除く

本日のゴール2

本発表内容の学習の仕方を理解する

本日のゴール

本発表内容の学習コンテンツが自作できるようになる 3

自己紹介

• 名前: 中村 充志

• 所属: リコージャパン株式会社

Microsoft MVP for Development Technologies (2017~)

★ 本日の環境

- GitHub Copilot Pro+ (Microsoft MVP特典)
- VS Code + C#

発表コンテンツについて



► 学習コンテンツ

https://agreeable-island-0c8e4d900.6.azurestaticapps.net/



▶ 発表資料

https://github.com/nuitsjp/all-of-github-copilot

たのしい話(機能)の前に楽しくない(お金)の話

GitHub Copilot プラン比較

プラン	月額	主な対象	プレミアムリクエスト
Free	無料	個人開発者	50/月
Pro	\$10	個人開発者	300/月
Pro+	\$39	AIパワーユーザー	1,500/月
Business	\$19/ユーザー	チーム・組織	300/ユーザー/月
Enterprise	\$39/ユーザー	大規模組織	1,000/ユーザー/月

一部機能の制限とプレミアムリクエストのリミットの相違

プレミアムリクエストとは

■ 基本概念

り リクエストの定義

- Copilotへのすべての依頼
- チャットでの質問、コード生成、拡張機能の利用など

🐧 課金モデル

- **基本**: プランに含まれる月間許可量
- 追加: 許可量超過時は \$0.04/リクエスト

モデル別プレミアムリクエスト消費量

モデル	Premium リクエスト
基本モデル (現在はGPT-4.1)	0(有料ユーザー)、1(Free)
Claude Sonnet 4	1
Claude Opus 4	10
o3	1
o4-mini	0.33

BusinessとEnterpriseの共存は可能か?

- よくある疑問
 - ユーザーによって利用頻度が異なり、使い分けたいことがある
 - コスト最適化を図りたい

◎ 答え: 共存可能です!

☑ BusinessとEnterpriseの共存可能

② 混在のメリット

- 同一リポジトリで異なるライセンスユーザーの混在は可能
- ユーザーの役割に応じたライセンス割り当て

1 注意点

- ただ現状のライセンス設計にだいぶ無理がある
- 将来変わる可能性はあり

直 重要なポイント

mm Organization制限

- OrganizationにはBusinessまたはEnterprise何れかのみ設定可能
 - 例: BusinessレベルのOrganizationでライセンスを割り当てるとBusinessに

▼ Team単位の管理

- CopilotライセンスはOrganization内のTeamごとに割り当てられる
 - Copilotが有効なユーザーと無効なユーザーが混在可能

プ ライセンス優先度

- ライセンスを重複割当した場合、有効ライセンスは優先度によって決定
 - Enterprise > Business > Pro+ > Pro
 - おそらくガバナンスを優先するため

◎ Biz/Entの混在おすすめ設定

ベストプラクティス

リポジトリー管理Organizationとライセンス管理Organizationを分ける

構成例

Organization	ユーザー	用途
Business License Org	User B1, User B2	ライセンス管理専用
Enterprise License Org	User E1, User E2	ライセンス管理専用
Repository Org	全ユーザー	実際の開発作業

機能紹介

機能①

#	機能名	Free	Pro	Pro+	Business	Enterprise
1	Code completion	✓	✓	✓	✓	✓
2	Copilot Chat	✓	✓	✓	✓	✓
3	Copilot coding agent	×	×	✓	×	✓
4	Copilot in the CLI	✓	/	✓	✓	✓
5	GitHub Copilot code review	✓	✓	✓	✓	✓
6	GitHub Models	X	X	✓	✓	✓
7	Repository and personal custom instructions	✓	✓	✓	✓	✓
8	Organization custom instructions	×	X	X	✓	✓

機能②

#	機能名	Free	Pro	Pro+	Business	Enterprise
9	Copilot prompt files	✓	✓	✓	✓	✓
10	Copilot pull request summaries	X	✓	✓	✓	✓
11	Copilot text completion	X	X	×	×	✓
12	GitHub Copilot Extensions	✓	/	✓	✓	✓
13	Copilot Workspace	X	✓	✓	✓	✓
14	Copilot Spaces	✓	✓	✓	✓	✓
15	Copilot knowledge bases	×	X	X	×	✓

▲ 最初にお断り

◇ 本日デモできない機能

次の機能は本日お見せできません。

- 1. │ **制限Preview機能** 現在募集されていないもの
- 2. m Enterprise限定機能 高度な管理・統合機能

これらは簡単な解説のみとなります。











1. Code Completion

リアルタイムコード補完



- AIによる自動的なコード提案
- 文脈を理解した賢い補完
- 複数行の提案も可能



2. Copilot Chat

対話型コーディングアシスタント

▶ 3つのモード

モード	用途	特徴
Ask	質問・説明	コードの理解、技術的な質問
Edit	ファイル編集	複数ファイルの制御された編集
Agent	自律的実行	タスクの自動完了、ツール実行

♀ コンテキスト指定

#file , #codebase , #selection , @workspace

3. Copilot Coding Agent

自動実装エージェント

盤 機能

- GitHub IssueからPRまでの自動実装
- コードの自動生成と検証
- テストの作成と実行

○ ワークフロー

- 1. Issueの理解と分析
- 2. 実装計画の作成
- 3. コードの自動生成

4. Copilot in the CLI

コマンドライン支援

■ 機能

- コマンドの提案
- コマンドの説明
- エラーの解決支援

使用例

gh copilot suggest "ファイルを再帰的に検索" gh copilot explain "git rebase -i HEAD~3"











5. GitHub Copilot Code Review

AIによるコードレビュー

人機能

- PRの自動レビュー
- 改善提案の生成
- セキュリティ問題の検出

■ レビュー内容

- コード品質
- ベストプラクティス
- 潜在的なバグ









Ent

6. GitHub Models

AI言語モデルへのアクセス

盤 機能

- 業界をリードする大規模・小規模言語モデルへの直接アクセス
- 様々なAIモデルの試用と比較
- プロトタイピングと実験

◎ 用途

- モデルの選定
- APIの事前検証
- 性能比較











7. Repository and Personal Custom Instructions

応答のカスタマイズ

➡ 機能

- 個人の好みに基づく応答調整
- 使用ツール・フレームワークの指定
- プロジェクト固有の要件設定

ジ 設定例

- コーディング規約の指定
- 優先言語/フレームワーク









8. Organization Custom Instructions

組織レベルのカスタマイズ

機能

- 組織全体での統一された応答設定
- 企業のコーディング規約の適用
- セキュリティポリシーの強制

③ メリット

- 一貫性のあるコード生成
- 組織標準の自動適用
- 品質の統一化











9. Copilot Prompt Files

プロンプトファイルの活用

▶ 機能

- 再利用可能なプロンプトの定義
- プロジェクト固有の設定
- チーム間での共有

🂡 使用例

- .github/prompts/foo-prompts.md
- テンプレートの定義
- ベストプラクティスの共有











10. Copilot Pull Request Summaries

PR要約の自動生成

₹ 機能

- PR変更内容の自動要約
- 影響範囲の分析
- レビュアー向けの説明生成

③ メリット

- レビュー時間の短縮
- 変更内容の明確化
- コミュニケーションの改善

11. Copilot Text Completion

テキスト補完支援



• PR説明文の迅速・正確な作成支援

⑥ メリット

- 一貫性のある文書作成
- 時間の節約
- 品質の向上



12. GitHub Copilot Extensions

外部ツールの統合

▲ 機能

- 外部ツールのCopilot Chatへの統合
- サードパーティサービスとの連携
- カスタム拡張の利用

* 対応ツール例

- Docker
- Azure
- データベース管理ツール









Ent

13. Copilot Workspace

統合開発環境

た 機能

- IssueからPRまでの統合フロー
- コードの自動生成と検証
- レビューと改良の統合

○ ワークフロー

- 1. Issueの理解
- 2. 実装計画の生成
- 3. コードの自動実装









コンテンツ管理・共有

▶ 機能

- 関連コンテンツの整理・集中化
- コンテキストの共有
- チーム間のナレッジ共有

◎ 用途

- プロジェクトドキュメントの管理
- コードスニペットの共有
- ベストプラクティスの蓄積

15. Copilot Knowledge Bases

組織知識の統合

一機能

- 組織ドキュメントのコレクション作成・管理
- 内部ナレッジベースとの統合
- カスタムコンテキストの提供

加 用途

- 社内コーディング規約の適用
- ドメイン知識の活用
- プロジェクト固有情報の参照









管理者向け機能

Business/Enterprise プラン

● アクセス管理

- メンバーのライセンス管理
- 組織レベルのポリシー設定

₩ 使用状況分析

- 利用統計の確認
- 効果測定
- 🔰 セキュリティ
 - ファイルの除外設定

学習コンテンツの活用方法

| オンライン教材

https://agreeable-island-0c8e4d900.6.azurestaticapps.net/

◎ 学習のポイント

- 正直学習コンテンツとしての精度は微妙
- 発表資料のリポジトリーをクローンしてCopilot Chatで適宜質問・修正しながら 実行するのがお勧め
- 別に完璧な教材なんて必要がない

▶ 発表資料

https://github.com/nuitsjp/all-of-github-copilot

▽ 学習コンテンツの作成方法

- 勿 効率的な作成フロー
- 1 公式ドキュメントの活用
 - プロンプトで学習教材を自動生成
- 2 #fetch で直接参照
 - URLを直接指定して効率化
- 3 Markdownでローカル保存
 - コンテキスト長の節約
 - Chrome拡張(Webpage to Markdown)の活用

ジ 学習コンテンツ作成のコツ

- 重要な考え方
- ✓ 完璧を求めない
 - 「こんなんで十分」の精神
 - 作り込みより実践を優先
- ✓ プロンプトに時間をかけない
 - モデルが変われば最適解も変わる
 - 学習時間を最優先に
- 参考資料
- https://github.com/nuitsjp/all-of-github-copilot

まとめ

◎ 本日お伝えしたこと

☑ GitHub Copilotの全機能概要

- 15の主要機能
- プラン別の利用可能機能

✓ 効果的な学習方法

- 段階的アプローチ
- 実践的な練習

✓ 継続的な活用

• 学習コンテンツの活用

ありがとうございました!

🎉 GitHub Copilotで開発を加速しましょう!

| リソース

- 学習コンテンツ: https://agreeable-island-0c8e4d900.6.azurestaticapps.net/
- 公式ドキュメント: https://docs.github.com/copilot
- VS Code ドキュメント: https://code.visualstudio.com/docs/copilot/

Happy Coding with GitHub Copilot!